とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	2761416
園名	ルーテル羽村幼稚園

1、活動のテーマ

＜テーマ＞

光・影

<テーマの設定理由＞

「光って何？」「影ってなに？どうして影ができるの？」等、光や影の関係に興味を持つ。
プロジェクター等を利用して活動を行い、光や影について興味を深めていく。

2，＜活動スケジュール＞

１１月～１月中旬にかけて定期的に全園児で２回・学年ごとに２～３回行う

3，探究活動の実践

＜活動の内容＞

1）プロジェクターを利用し、園庭で遊んでいる自分たちや、日ごろ使っている固定遊具・砂場セット等を映し、子どもたちに影がある事に気づかせる。そこから、なぜ影ができるのかを考えてみる。
また、映像を見ながら影の動きや形にも気づくように進める。
その後、色々なものを使って影を作りその影が何の影なのかを考えてみる。

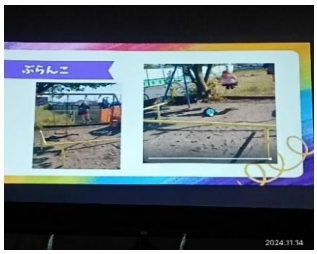
2)プロジェクターを利用し影絵の絵本を見る。そのお話の中で手の影絵が出てきたり、色の影絵が出てくる事に気づく。そこから、園庭の様々な影を見、影の変化の仕方や、影の長短に気づき、なぜ変化するのかを考えてみる。また、お話に出てきた動物の影が身近な物（洗濯ばさみ等）を利用して作った影であることや手を使って作った影である事にも気づく。
また、身の回りに色のついた影がある事にも気づき、風船・ビー玉・葉っぱ等の影が何色になるのかを考えてみ、最後にシャボン玉の影はどのようになるのかを見てみる。

3)各学年ごとにプロジェクターを利用し、また様々な小道具を利用し、どのような影ができるのか影の変化や大きさ・色等がどうなるのかを体験できる様、壁一面に光を当て自由な時間を作る。

4）自由な体験の中から、発見したことや感じたことを発表してもらい、友だちの話を聞くことで、またあらたな発見をする。



「ジャンプをしたら影はどうなる？」



「ブランコに乗っている時の影は？」



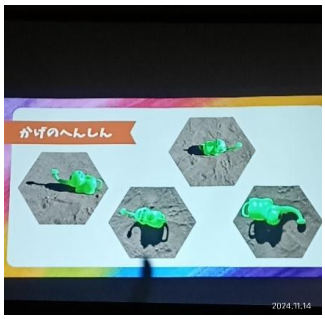
「影が長くなった」



「みんなが集まったら影はどうなる？」



「歩く・走る　影は？」



「影の変身」



「手で影絵遊び」



「影を作って遊ぼう」



「青い影」



「影を作って遊ぼう」

4，振り返り

子どもたちがいつも遊んでいる園庭や保育室・身の回りにたくさんの影があることを知り、そこから影の仕組みや楽しさを感じ、どんどん興味が湧いてきていることを感じた。

年長児では、「なんでだろう？」と考え自分なりに考えた事の話をしたり、友だちの話しを聞いたりしながら疑問に感じたことを考えていく姿に、自らたくさんの事を学んでいることを感じた。

最後の活動では、それぞれが自由に光の前で色々な物を使って影を作り、そこから様々な発見が出来るような時間を設け、気づいたことを発表する活動を行ったが、そこでも、影の大きさの変化や影の形・色についての発見や驚きがあり、この活動を通して、子どもたちがたくさんのことに興味を持ち、自ら考え楽しむ様子に、子どもたちの力と創造力をあらためて感じることが出来た。また、自分の考えや感じたことを、自分の言葉で人に伝える姿にも子どもたちの育ちを感じることが出来た。